

# あいち農産物生産流通レポート

平成30年5月号

	ページ
◎ 地域トピックス	
・ 六ツ美養鶏加工協同組合が新たに食鳥処理施設を整備しました	(西三河農林水産事務所) 1
・ 今年で10年目となる東三河の「フラワーウォーク」	(東三河農林水産事務所) 2
◎ 東日本情報	
・ 市場データから見たいちじく生産の課題と新たな販売方法について	(東京事務所) 3
◎ フラワーページ	
・ 「フラワードリーム2018 in 東京ビッグサイト」が開催されました	(東京事務所) 5
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	7
・ 名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し	8
◎ 花き	
・ 切り花・鉢花の5月の見通し(県内市場)	20

※今月、「情報サロン」、「西日本情報」はありません。

## 内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。それぞれの情報につきましては、

### 【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

### 【消費者物価指数】

全国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」

<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>

名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

### 【農作物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農作物価統計調査」

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

### 【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」

[http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?\\_toGL08020101\\_](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_)

を御覧ください。



## 六ツ美養鶏加工協同組合が新たに食鳥処理施設を整備しました

西三河農林水産事務所

### 1 施設整備の目的

岡崎市の六ツ美養鶏加工協同組合（宮本大介代表理事、組合員数 56 名）では、採卵養鶏農家から産卵期間を終えた廃鶏を受け入れ、もも肉やささみ、むね肉などに解体し、主に加工ハムやミンチの原料として食肉販売業者へ販売しています。

近年、養鶏場の大規模化により、1 回当たりの廃鶏の入荷羽数が増加してきており、この状況に対応するため、平成 29 年度強い農業づくり交付金を活用し、新たに食鳥処理施設と汚水処理施設を整備しました。今回の施設整備によって年間処理能力は約 10% も増強され、3,750 千羽の処理が可能となりました。

### 2 施設の特徴

これまで手間を要していた骨付きもも肉を肉と骨に分離する脱骨作業に、時間当たりの処理能力を従来より約 10% も向上させる最新鋭の機械を 4 台導入しました。機械の操作はとても容易で、高齢者や障がい者も働きやすい施設となりました。また、ユークリートと呼ばれる耐久性、耐薬品性に優れた高機能性床材を床面に貼ることにより、水はけも良くなり、清掃が容易で衛生面で大きな改善が図られました。さらに、より高性能な井戸水の浄化装置を導入したことで、洗浄水のコスト削減が期待できます。加えて、処理羽数の増加に対応し、汚水処理施設の増設も行いました。

今回の施設整備に加え、同組合では HACCP の導入を計画しており、より効率的かつ衛生的な食鳥処理が行われ、消費者に安全な製品の供給が図られることとなります。採卵養鶏農家にとっては安心して鶏の更新ができる施設として、さらに養鶏業界全体からも先進的な食鳥処理施設として、今後の事業展開が大いに期待されています。



最新鋭の脱骨機械



新処理施設での作業風景



高性能な井水浄化装置



増設した汚水処理施設

## 今年で 10 年目となる東三河の「フラワーウォーク」

東三河農林水産事務所

本県は、昭和 37 年から花きの産出額日本一を誇る「花の王国」です。とりわけ東三河管内は、田原市をはじめ花き生産の盛んな地域です。

一方で、名古屋市の 1 世帯あたり年間切り花消費額は、全国の県庁所在市の中で下位にとどまるなど、花き消費量が特段多いとはいえないのが実情です。

そのような中、本県では、県内の花き生産者団体である愛知県花き温室園芸組合連合会が消費者への PR 活動として取り組んでいる、花を持って歩く「フラワーウォーク」を応援しています。

東三河管内でも、平成 21 年度（平成 22 年 3 月）から『FLOWER WALK・東三河』として、当地域の県職員に対してワンコイン（500 円程度）で地元の花を頒布し、自宅に持ち帰っていただく取組を続け、今年で 10 年目の節目を迎えます。

そこで今回は、これまでに行った当管内での特徴的な取組内容と、今後の活動の方向性について紹介します。

### 1 これまでの実績

平成 21 年度からの 9 年間で、初年度は 1 回、2 年目からは年 4 回から 6 回のフラワーウォークを実施してきました。1 回あたり約 100 人の参加があり、延べ 4,000 人以上がフラワーウォークに参加したことになります。

### 2 「輪ぎく」の新しい需要を掘り起こす取組

特徴的な取組としては、平成 28 年度に行った、満開のきく（ブルームマム）を紙・ワイヤー・セロテープで装飾する「キャラマム」作りです。花に顔を描いて、「オリジナルのキャラクター」を作る、「キャラマム」の作成は、購入者の反響も良く、自宅まで持って帰る時も花が目立ち効果的な取組となりました。



きくを使ったオリジナルキャラクター「キャラマム」

### 3 今後の活動について

今後も年 4 回から 6 回の「フラワーウォーク」を実施します。現在は東三河総合庁舎の県職員中心の活動となっていますが、将来的には活動の範囲を少しずつ広げ、管内の花き産地の市や団体に参加を呼びかけるほか、「キャラマム」作りなど活動のクオリティを上げて、取組を継続していきたいと思えます。

## 市場データから見たいちじく生産の課題と新たな販売方法について

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

愛知県では、安城市や碧南市を始め県内各地でいちじくが栽培され、全国一のいちじく産地となっています。東京都中央卸売市場を始めとした首都圏の市場においても、出荷が始まる4月から7月には愛知産のハウスいちじくがシェアの大半を占めるなど、愛知県が主要な供給元となります。

一方で、東京都中央卸売市場のいちじく入荷量は以前より減少しており、市場流通量も他の果実に比べて小さく、販売形態はほぼ生果のみとなっています。そこで今回は、首都圏でのいちじくの流通動向とともに、冷凍品等による新たな販売の取組を紹介します。

### 1 東京都中央卸売市場におけるいちじくの入荷状況

市場入荷量は近年下げ止まり傾向にありますが、平成29年の入荷量は約1,185 tで、平成14年入荷量の6割弱となっており、過去に比べて大きく減少しています（図1）。

その一方で、販売単価は年々上昇しており、近年は需要に対して供給量が不足していることが伺えます。また、愛知県産と他県産の比較では、愛知県産の減少幅が大きく、シェアは平成14年の約68%から平成29年には約47%と低下しています。

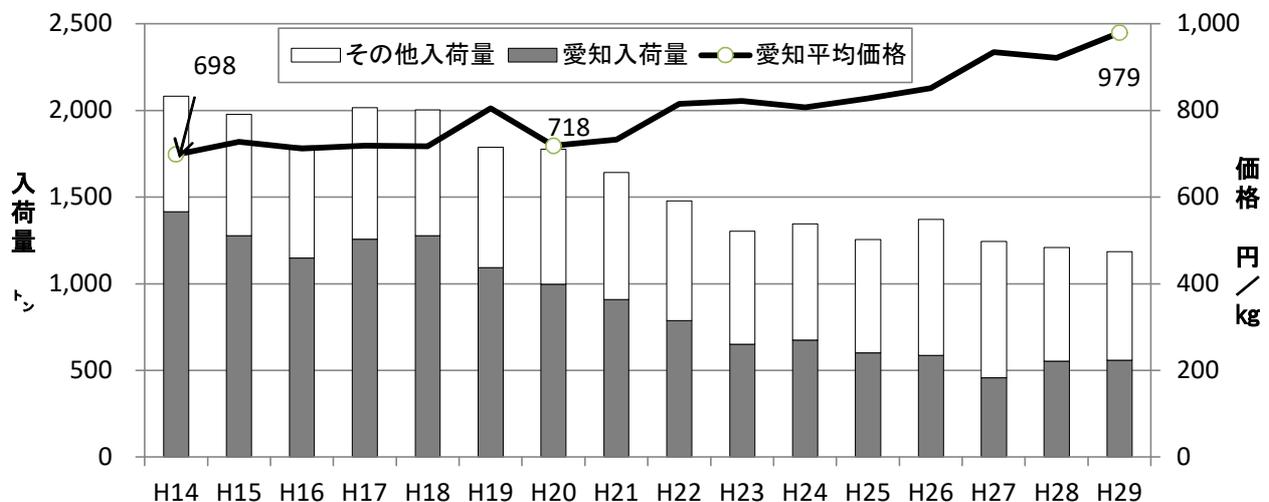


図1 いちじく入荷量の年別推移（東京都中央卸売市場）

月別入荷量では、4月から7月は愛知県産がほぼ全量を占めますが、露地栽培の収穫が始まる8月からは他県産の入荷も増え、市場全体の入荷量が急増します（図2）。

産地では、毎年この時期、「収穫が多く集荷時間に間に合わない」「選果施設のパンクにより収穫物を選果しきれない」などの声が聞かれます。選果能力（選果労力）を超えるのは年間に数日程度ですが、選果を翌日にまわさざるを得ない状況も発生し、傷みが早いいちじくでは販売果率（正品果率）を低下させる一因となります。

また、高温で成熟が急激に進むことによる過熟果（完熟果）や裂果、降雨等によるハト目障害の発生など、選果以前の段階ではね出し果が多発するのもこの時期です。

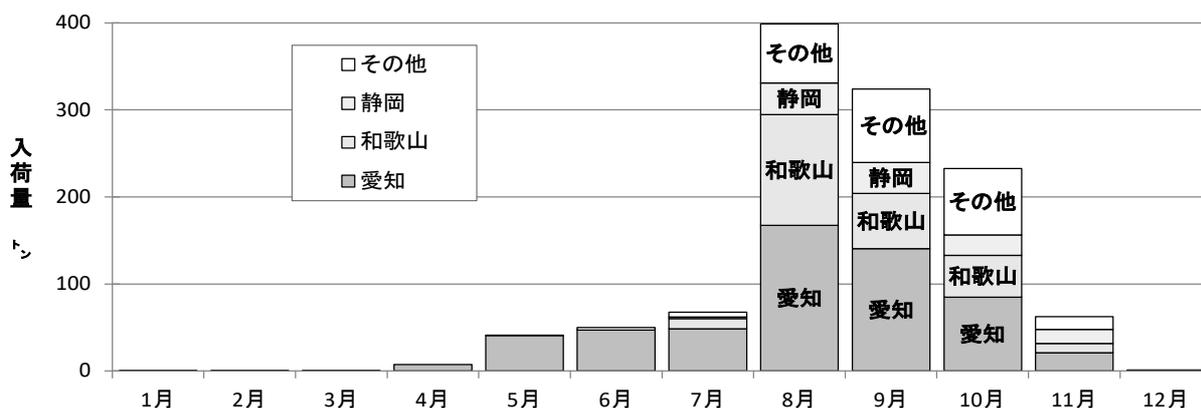


図2 いちじく入荷量の月別推移 (年東京都中央卸売市場、平成29年)

## 2 冷凍いちじくの取り組み

生果以外の販売形態を開拓し、低い販売果率を改善する試みが始まっています。これまでの生果流通では出荷に適さなかった過熟果や裂果、ハト目障害果を利用した加工品や冷凍いちじくの取組です。

県内ではJA部会に属する田原市の生産者数名が平成28年より試験的に冷凍いちじくの販売を始めており、通常出荷に適さない過熟果などを活用することで、主力となる上位品質の流通量を減らさず、同時にいちじく販売果率の向上を目指しています。このほかにも安城、知多の産地でも同様の取組が進められています。

また、すでに冷凍いちじくを販売する静岡県や和歌山県などでは、インターネットや電話による注文販売が主流で、産地の大型冷凍庫で商品を保管し、宅配便により消費者の元に送付しています。

表1 先行事例の冷凍いちじくの販売方法

### 【個別冷凍庫+直売所での販売】(田原)

- 各戸が冷凍庫(ストックヤード)を確保。各自で調製、袋詰めして保管。
- JA直売所に冷凍庫(ショーケース)を設置し、手数料を払い販売委託。

### 【大型冷凍庫+ホームページ+宅配便を利用】(他県)

- 生産者がJA等の出荷施設に出荷。
- 出荷施設で袋詰めした後、大型冷凍庫で保管。
- 出荷施設のHPでの注文受付。宅配便での送付、代引き等での現金回収。

## 3 いちじく加工品や冷凍品への期待

先日、都内において日本ワインといちじく料理の勉強会が開催されました。勉強会では、一宮市の「いちじくグラッセ」や田原市の「冷凍いちじく」を使った料理も振る舞われ、多くの出席者から高い関心と評価を得ることができました。特に冷凍いちじくは、サクサクとした食感と風味が人気を集め、購入方法などの質問が多数寄せられ、新しい販路として期待されました。

生果の生産供給の強化とともに、このような流通形態を増やすことで、既存の生果流通を減らすことなく商材と所得の確保、産地の強化が可能になると思われます。



勉強会で提供された料理  
(いちじくグラッセを使用)

## 「フラワーDream 2018 in 東京ビッグサイト」が開催されました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

平成30年4月14日（土）から15日（日）にかけて、一般社団法人JFTDが主催するイベント「フラワーDream 2018 in 東京ビッグサイト」が開催されましたので、概要を紹介します。

### 1 フラワードリームとは

フラワーDreamは、「花キューピット」の愛称で知られる生花通信配達取引事業等を行うJFTDが、“花の持つ魅力や花文化の醸成”をテーマに平成21年から毎年開催している大規模な花のイベントです。

フラワーデザイン競技会やプリザーブドフラワーのコンテスト、花に関するワークショップ、花や関連商品の販売など、多くの催し物の開催やブース出展があり、本県からもJA愛知みなみ渥美スプレーマム出荷連合が参加しました。また、東日本大震災の復興支援として、東北地方の物産販売やPRなども行われました。



フラワーデザイン競技の作品

### 2 手軽に楽しめる花が人気

出展者からは、「暮らしの中に手軽に植物を取り入れたい人の中で、ドライフラワーが人気になっている。実際に、ドライフラワーになりやすくボリュームのあるカスミソウ等が人気になる事例もあり、こういった人が他の生花を買うようになることもある」という話がありました。

ドライフラワーと同じく水を与えるなどの購入後の手間がかからず、より長期間花を楽しめる商品として、プリザーブドフラワーがありますが、会場では多くの女性が同コーナーで足を止めて熱心に見入り写真を撮影するなど、出展者の話を裏付ける光景が見られました。



プリザーブドフラワーのコーナー

フラワーDreamの会場では、男性よりも女性が目立ち、男性が花を見たり購入したりする動きはまだ鈍いと思われました。その一方で、家族連れでワークショップに参加している人たちの姿も見られ、子供のころから花と触れあうことで、将来の消費拡大につながると期待されました。



## 愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下  
 わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

### ○ 名古屋中央卸売市場（品目：みつば）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
29年実績	520	506 (97%)	677	671	静岡(2%) — —
30年見通し	520	—	650	—	
<b>概要と見通し</b>			<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
<p>県内の海部及び名古屋地域からの入荷が中心となる。高齢の生産者が多く人手不足により入荷量は徐々に減少していたが、近年は下げ止まり傾向にある。本年の入荷は概ね順調に推移しており、しばらくは例年同様の販売情勢が続くとみられる。                      入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>			<p>入荷物の品質に問題はないが、今後夏場に入ると、黄化などの品質低下が発生しやすい時期となるため注意を願いたい。                      また、生産量の維持のため、後継者の確保・育成を行い、将来的にも安定供給が可能な産地づくりを望む。                      消費面では、国産ハーブといわれる品目であるが、添え物などでの利用が多く、消費量は減少傾向にある。活用方法を含めたPRが必要になると思われる。</p>		

### ○ 東京都中央卸売市場（品目：ペコロス）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
29年実績	195	24 (12%)	602	1,087	北海道(76%) ニュージーランド(6%) オーストラリア(2%)
30年見通し	180	—	650	—	
<b>概要と見通し</b>			<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
<p>29年入荷量は前年比96%と減少したが、愛知県産のシェアは12%で微増だった。                      愛知県産が担う5～8月は主要産地の北海道からの入荷がなく高単価となる。他の競合産地も少なく、年間を通じた需要が期待できることから、愛知県産の入荷期間の単価は安定している。                      入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>			<p>業務向けを中心に安定した需要がある。主要産地である北海道の入荷がなくなる時期の愛知県産に対する期待は大きく、品質的にも評価が高い。                      週末を中心に年間通じた入荷があり、連休明けは一段と量が出る。料理でも見た目の部分で欠かせない商材として、レストランなどでの需要が確実にある品目のため、安定入荷が求められている。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し

名古屋市中央卸売市場

4月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	25年	36,875	178	194	182	165	愛知 30%
	26年	34,019	219	223	218	216	北海道 9%
	27年	32,052	269	279	266	263	茨城 8%
	28年	33,981	242	243	233	246	徳島 7%
	29年	35,201	227	235	213	230	長野 6%
	5ヵ年平均	34,426	227	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	34,600	213	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知中心に入荷する。気温上昇と好天で生育が遅れていた荷が入り、相場は下落。多くの品目で安値となった。5月は切り上がりや入荷時期の前倒しが予想されるが、多くの品目で順調な入荷を見込む。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
だいこん	25年	2,360	69	78	71	67	愛知 74%
	26年	2,041	84	79	89	93	千葉 17%
	27年	2,099	103	126	101	90	青森 3%
	28年	1,774	100	97	109	97	鹿児島 3%
	29年	1,924	97	106	99	91	香川 1%
	5ヵ年平均	2,040	90	97	93	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	2,000	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に千葉などからも入荷する。愛知の作柄は順調。気温が上昇して日照も多いため、5月は例年より早い切り上がりが予想されるが、安定した入荷を見込む。千葉も例年並の入荷見通し。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
にんじん	25年	2,444	116	124	114	111	徳島 85%
	26年	2,526	118	116	115	123	岐阜 12%
	27年	2,239	147	131	138	171	兵庫 1%
	28年	2,269	165	202	187	126	千葉 1%
	29年	2,369	133	141	140	118	
	5ヵ年平均	2,370	135	142	138	129	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	2,300	150	150	150	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>徳島中心に入荷する。価格が落ち着く品目が多い中、4月前半は高値を維持した。徳島は冬場の低温で生育遅れと小玉傾向がみられ、入荷ピークがGW後と例年より遅れる見通し。その後は価格が落ちつくか。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

4月27日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	25年	145,709	192	203	190	184	千葉 18%
	26年	138,940	233	234	235	230	茨城 16%
	27年	129,348	277	291	276	265	佐賀 6%
	28年	134,886	259	260	256	261	群馬 5%
	29年	144,436	238	245	234	235	徳島 4%
	5ヵ年平均	138,664	239	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	146,000	240	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。全体的な生育の遅れも3、4月の高温傾向で回復している。土物類、果菜類は西南暖地からの入荷が本格化するほか、北関東以北の産地からも入荷が始まる。総じて潤沢な入荷となる見込み。 入荷量と価格はともに前年並の見込み。</p>					
だいこん	25年	9,623	72	89	70	56	千葉 76%
	26年	10,543	77	74	83	76	茨城 12%
	27年	10,248	104	136	107	75	青森 6%
	28年	9,466	96	99	101	88	鹿児島 2%
	29年	10,434	91	107	89	78	栃木 2%
	5ヵ年平均	10,063	88	101	90	75	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	10,500	80	100	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、茨城からの入荷が中心となる。寒暖の変化はあるが高温傾向のため、生育は早まる。各産地とも太物比率が高い。害虫の発生も聞かれるが、入荷への影響は限定的とみられる。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
にんじん	25年	8,380	126	129	124	124	徳島 68%
	26年	7,961	130	125	124	140	千葉 25%
	27年	7,481	154	138	145	180	中国 2%
	28年	8,805	177	207	202	136	静岡 2%
	29年	9,126	141	146	146	131	茨城 1%
	5ヵ年平均	8,351	146	150	149	141	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	8,600	150	160	160	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>徳島、千葉からの入荷が中心となる。ここまで昨秋の台風、冬場の低温による生育遅れや肥大不足等の影響が残っていたが、3月以降の好天と適度な雨で回復基調。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

4月16日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	25年	1,669	53	68	49	45	茨城 73%
	26年	1,506	61	59	61	67	愛知 18%
	27年	1,640	179	188	199	144	長野 9%
	28年	1,471	82	90	80	80	
	29年	1,572	84	114	70	70	
	5ヵ年平均	1,572	92	105	93	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,600	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は6月～10月まで増加傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。単価は6月～10月まで上昇傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。</p>				
<p>茨城を中心に愛知、長野から入荷する。2月まで高値が続いたが、気温上昇に伴う入荷増や品質低下、需要減等で現在の価格は大きく低迷している。愛知の切り上がりは早く5月中旬まで。茨城は中旬から減少し、長野は下旬から入荷が始まるか。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
キャベツ	25年	3,966	70	96	71	52	愛知 80%
	26年	3,779	86	88	97	78	茨城 13%
	27年	3,311	185	264	216	107	神奈川 4%
	28年	3,371	113	123	100	118	兵庫 1%
	29年	3,380	103	130	92	97	宮崎 1%
	5ヵ年平均	3,561	109	137	113	89	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	3,400	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は6月～10月まで増加傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。単価は6月～10月まで上昇傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。</p>				
<p>愛知を中心に茨城などからも入荷する。愛知は例年4月下旬から5月上旬の入荷が少ないが、今年はある見通し。作付けは前年並で、作況も悪くない。茨城などの他産地も順調な入荷を見込む。入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
ほうろ	25年	283	467	495	515	420	岐阜 60%
	26年	232	501	457	572	496	愛知 18%
	27年	256	551	525	556	548	茨城 17%
	28年	273	578	539	562	611	群馬 2%
	29年	300	515	528	469	573	長野 2%
	5ヵ年平均	269	522	510	532	530	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	300	500	500	500	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は6月～10月まで増加傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。単価は6月～10月まで上昇傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。</p>				
<p>岐阜を中心に愛知、茨城などから入荷する。愛知はGW前にはほぼ終了し、岐阜が主体となる。岐阜の飛騨産は例年より7～10日早く、GW明けにはピークを迎えるか。茨城も順調な入荷予想。入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

4月27日現在

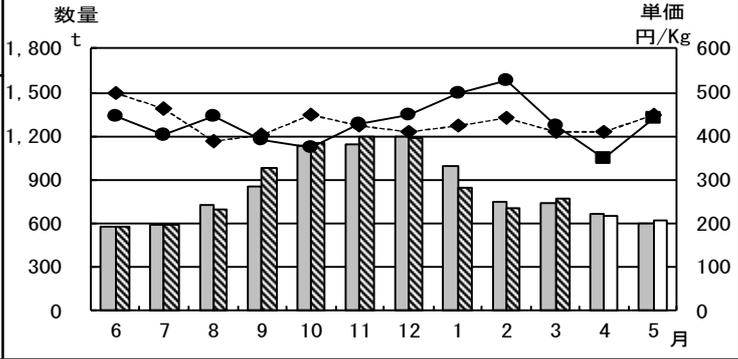
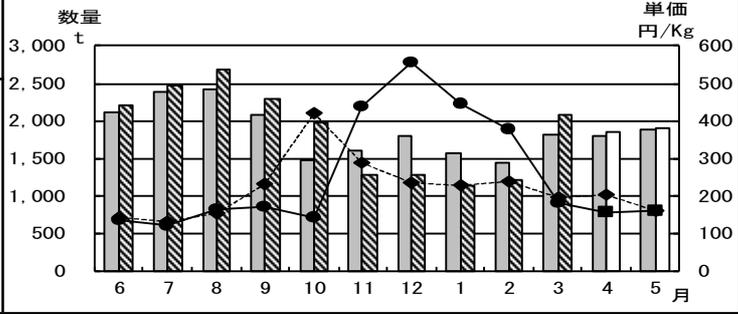
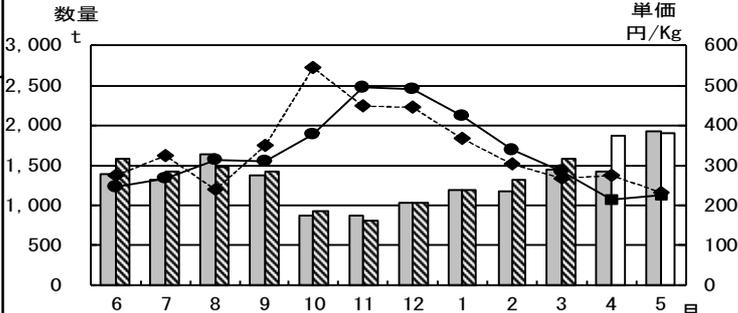
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	25年	6,537	37	49	35	27	茨城 94%
	26年	5,767	48	48	49	49	長野 3%
	27年	5,041	142	151	173	106	熊本 1%
	28年	5,882	60	66	58	57	群馬 1%
	29年	7,005	64	90	60	43	
	5ヵ年平均	6,046	67	79	71	54	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	7,000	60	50	65	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心となる。3、4月の好天と高温で前進傾向となっており、現状は潤沢な入荷があるが、5月後半はピークを過ぎて落ち着くか。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>ほうきの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は10月頃にピークを記録し、単価は2月頃にピークを記録しています。</p>					
キャベツ	25年	19,217	61	70	62	48	千葉 35%
	26年	17,757	81	79	95	72	神奈川 32%
	27年	16,562	149	170	165	112	愛知 18%
	28年	17,349	100	101	100	98	茨城 14%
	29年	19,052	90	97	87	87	東京 1%
	5ヵ年平均	17,987	95	102	100	82	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	19,700	75	80	75	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、神奈川、愛知、茨城からの入荷が中心となる。愛知は終盤に入り数量減らすも、主力の千葉、茨城からは潤沢な入荷が続く。生育が遅れていたものがここに来て回復しており、量はまとまっている。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>キャベツの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は10月頃にピークを記録し、単価は2月頃にピークを記録しています。</p>					
ほうれんそう	25年	1,602	373	478	376	303	群馬 36%
	26年	1,356	458	447	533	414	茨城 34%
	27年	1,456	467	467	466	469	埼玉 8%
	28年	1,375	473	456	469	492	岩手 8%
	29年	1,512	436	459	401	455	岐阜 6%
	5ヵ年平均	1,460	439	462	446	424	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,500	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城など関東産地を中心に岩手などからも入荷する。主力の関東産地は順調な生育。他の産地では生育の前進あるいは遅れが散見されるものの、総じて問題は見られず平年並の入荷が見込まれる。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>ほうれんそうの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は10月頃にピークを記録し、単価は11月頃にピークを記録しています。</p>					

名古屋市中央卸売市場

4月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	25年	765	356	374	352	376	愛知 24%
	26年	679	416	416	428	430	大分 21%
	27年	644	514	506	547	518	鳥取 16%
	28年	581	558	600	601	514	長崎 6%
	29年	602	449	439	459	444	埼玉 5%
	5ヵ年平均	654	453	461	470	452	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	620	440	420	450	460	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、大分、鳥取などの各産地から入荷する。普通ねぎは愛知中心で、越津ねぎから夏ねぎに移行するが、切り替わりは順調に進むとみられる。白ねぎは大分や鳥取が中心で、こちらも秋冬ねぎから夏ねぎへの切り替わりは順調な見通し。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。							
し	25年	1,873	155	203	144	128	長野 55%
	26年	1,876	161	176	160	153	兵庫 26%
	27年	1,937	222	271	183	227	茨城 13%
	28年	1,738	189	198	170	205	山梨 2%
	29年	1,890	161	202	153	137	愛知 2%
	5ヵ年平均	1,863	178	211	162	170	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,900	160	170	150	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
長野を中心に兵庫、茨城などから入荷する。長野は前倒し傾向で、上中旬にピークを迎える見通し。兵庫と茨城は中旬から減少する予想だが、茨城は例年より早い。愛知は4月でほぼ終了する見通し。 入荷量と価格はともに前年並の見込み。							
きゅう	25年	2,244	158	191	162	153	愛知 43%
	26年	1,845	241	254	249	229	群馬 14%
	27年	1,903	227	220	245	225	高知 12%
	28年	1,807	259	248	255	277	長野 10%
	29年	1,928	232	245	225	227	宮崎 9%
	5ヵ年平均	1,945	221	230	225	219	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,900	225	210	240	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知を中心に群馬、高知などから入荷する。現在は入荷が多く安値推移している。冬春の愛知や高知、宮崎などの西南暖地、中下旬から入荷が増える春系の群馬や長野の各産地ともに順調な入荷となる見通し。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

4月27日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	25年	4,340	333	326	311	358	茨城 35%
	26年	4,316	383	371	383	394	千葉 29%
	27年	3,899	511	497	547	486	埼玉 13%
	28年	4,024	539	628	523	486	栃木 4%
	29年	4,230	426	420	435	420	中国 4%
	5ヵ年平均	4,162	435	448	440	429	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	4,300	380	380	380		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉など関東産地からの入荷が中心となる。茨城は中旬には数量がまとまり、下旬にかけてピークを迎える。曲がりが多く肥大も良いことから品質は良好。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
<p>茨城、千葉など関東産地からの入荷が中心となる。茨城は中旬には数量がまとまり、下旬にかけてピークを迎える。曲がりが多く肥大も良いことから品質は良好。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
しそ	25年	7,922	141	168	133	122	長野 38%
	26年	8,159	140	143	137	140	茨城 29%
	27年	7,531	205	242	169	205	群馬 22%
	28年	8,232	170	184	149	176	兵庫 3%
	29年	8,298	142	182	131	119	福岡 2%
	5ヵ年平均	8,028	159	183	143	152	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	8,500	130	125	125	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、長野、群馬からの入荷が中心となる。各産地とも生育は前進傾向となる。高温も手伝い冬場産地は終盤が早まるが、上旬には高冷産地の量がまとまり、端境なく順調に切り替わると見込まれる。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
<p>茨城、長野、群馬からの入荷が中心となる。各産地とも生育は前進傾向となる。高温も手伝い冬場産地は終盤が早まるが、上旬には高冷産地の量がまとまり、端境なく順調に切り替わると見込まれる。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
きゅうり	25年	8,975	169	198	159	152	埼玉 29%
	26年	8,026	265	281	277	241	群馬 25%
	27年	8,711	227	214	245	221	茨城 13%
	28年	8,998	255	266	249	247	千葉 11%
	29年	9,282	233	243	225	231	宮崎 7%
	5ヵ年平均	8,798	229	240	230	218	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	9,600	230	225	225	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>埼玉、群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。多くの産地がピークを迎えており入荷は潤沢に。後半は東北産地が始まるが、主力の関東が落ち着き、価格は強含みで展開すると見込まれる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
<p>埼玉、群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。多くの産地がピークを迎えており入荷は潤沢に。後半は東北産地が始まるが、主力の関東が落ち着き、価格は強含みで展開すると見込まれる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

4月16日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	25年	1,222	266	294	278	240	愛知 39%
	26年	1,179	294	299	294	294	熊本 37%
	27年	1,098	353	370	345	351	宮崎 19%
	28年	1,020	370	372	376	372	高知 4%
	29年	1,115	357	367	357	351	
	5ヵ年平均	1,127	326	338	328	319	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,100	345	350	340	330	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、熊本を中心に入荷する。愛知は豊作基調。冬春作の切り上がり時期にもよるが、潤沢な入荷を見込む。熊本も作柄良好だが、下級品の増加が例年より早まるか。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。							
ト マ ト	25年	1,995	237	282	263	197	熊本 41%
	26年	1,925	288	311	303	266	愛知 28%
	27年	1,664	354	372	339	350	三重 17%
	28年	1,881	284	295	273	283	岐阜 13%
	29年	1,913	254	252	254	258	群馬 1%
	5ヵ年平均	1,876	281	300	285	268	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,900	250	250	230	260	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本、愛知を中心に三重や岐阜などから入荷する。厳寒期に相場が上がらず、現在も安めで推移。熊本は3、4月の好天で入荷が前倒ししたため、5月はやや少ないか。愛知は一部で花飛びが発生しているが、全体では入荷の多い傾向が続く見通し。入荷量と価格はともに前年並の見込み。							
ミ ニ ト マ ト	25年	561	499	523	493	461	熊本 49%
	26年	575	558	590	541	540	愛知 37%
	27年	501	627	617	605	659	和歌山 7%
	28年	577	565	573	541	573	宮崎 6%
	29年	694	529	499	537	561	
	5ヵ年平均	582	553	557	542	557	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	600	550	500	550	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本、愛知を中心に和歌山、宮崎から入荷する。各産地ともに気温と日照に恵まれ潤沢な入荷を見込む。GWが入荷のピークとなる見通し。入荷量は前年をかなり下回るが平年より多く、価格は前年をやや上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

4月27日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	25年	4,576	296	343	307	254	高知 48%
	26年	4,438	366	385	380	343	福岡 14%
	27年	4,099	396	390	405	394	群馬 14%
	28年	4,106	420	416	428	416	熊本 7%
	29年	4,748	399	435	400	370	栃木 4%
	5ヵ年平均	4,393	374	394	384	355	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	4,700	400	400	390	410	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、群馬、栃木などからの入荷が中心となる。関東、西南暖地ともに目立った問題はなく順調。病害虫の発生は多くはないが、高温が続くため、特に害虫の発生には留意が必要か。 入荷量と価格はともに、荷が潤沢だった前年並の見込み。</p>					
ト マ ト	25年	10,872	253	287	275	214	栃木 25%
	26年	10,465	300	326	311	272	熊本 23%
	27年	8,964	357	380	336	356	愛知 11%
	28年	10,443	295	319	279	291	千葉 9%
	29年	10,263	280	278	282	281	茨城 9%
	5ヵ年平均	10,201	295	316	295	280	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	10,300	280	280	280	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地を中心に熊本、愛知などからの入荷となる。好天で日照量は増加したが、施設内の高温と乾燥で草勢を落とすほ場もある。愛知は植え替え型の出荷が始まり、連休明けにはピークを迎える。各産地とも前年並の潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量と価格はともに前年並の見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	25年	2,230	448	493	458	403	熊本 41%
	26年	2,288	523	552	522	499	愛知 21%
	27年	1,917	607	594	580	650	千葉 9%
	28年	2,302	512	519	490	528	宮崎 9%
	29年	2,434	495	447	502	536	静岡 6%
	5ヵ年平均	2,234	514	518	508	520	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	2,400	500	450	510	540	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、千葉、宮崎からの入荷が中心となる。主要産地は5月上旬にピークを迎え数量は潤沢だが、連休後の入荷は落ち着くと見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は前年並となる見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

4月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	25年	821	241	361	251	191	宮崎 32%
	26年	860	242	290	250	224	鹿児島 32%
	27年	702	382	592	389	303	茨城 25%
	28年	740	349	462	351	307	高知 12%
	29年	926	311	386	311	263	
	5ヵ年平均	810	301	410	307	255	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	900	310	300	310	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、鹿児島、茨城、高知を中心に入荷する。宮崎、鹿児島などの西南暖地、茨城などの関東産地ともに作柄良好。病虫害の被害も少なく、順調な入荷が予想される。入荷量は前年をわずかに下回るが平年より多く、価格は前年並の見込み。</p>					
ばれいしょ	25年	3,844	94	104	101	91	長崎 44%
	26年	3,512	126	143	130	122	鹿児島 42%
	27年	3,185	219	232	205	226	北海道 7%
	28年	3,445	205	202	194	217	静岡 4%
	29年	3,401	166	193	162	156	熊本 2%
	5ヵ年平均	3,477	159	172	156	160	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	3,500	115	120	110	105	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長崎、鹿児島を中心にして北海道、静岡などから入荷する。現在中心の鹿児島の離島物のサイズはL中心だが、移行する本土物や5月に入荷増となる長崎産はやや生育が遅れており小玉傾向。入荷量はわずかに上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	25年	5,049	61	61	61	61	愛知 50%
	26年	4,027	103	109	110	95	北海道 42%
	27年	4,133	117	102	113	145	兵庫 5%
	28年	5,731	75	73	66	88	熊本 1%
	29年	6,404	81	87	72	87	宮崎 1%
	5ヵ年平均	5,069	85	85	81	93	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	5,900	80	85	80	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、北海道を中心に入荷する。愛知は1,2月の低温で入荷が落ち込んでいたが、3月からの好天と気温上昇で回復。5月は順調な入荷を見込むものの、L・M中心で例年より小玉となるか。入荷量は前年をかなり下回るが平年より多く、価格は前年並の見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

4月27日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	25年	2,701	272	362	259	202	茨城 70%
	26年	2,836	277	335	260	237	高知 13%
	27年	2,509	412	577	382	320	宮崎 12%
	28年	2,623	383	461	368	334	鹿児島 5%
	29年	2,881	361	434	348	313	
	5ヵ年平均	2,710	339	431	322	280	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	2,900	360	380	350	350	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城を中心に高知、宮崎、鹿児島から入荷する。当初鈍かった動きも好天に恵まれ回復している。5、6月は潤沢な入荷見通しで、入荷量は順調だった前年並になると見込まれる。 入荷量と価格はともに前年並の見込み。</p>						
ばれいしょ	25年	10,682	101	96	104	105	鹿児島 45%
	26年	10,388	133	138	129	132	長崎 41%
	27年	8,925	216	205	204	239	北海道 6%
	28年	9,131	211	201	204	226	熊本 4%
	29年	10,757	165	182	160	155	静岡 3%
	5ヵ年平均	9,977	162	162	157	168	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	10,400	120	130	120	110	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>鹿児島、長崎からの入荷が中心となる。鹿児島は小玉傾向、長崎は肥大順調と産地により状況が分かれるが、全体的には順調だった前年並の生育、入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>						
たまねぎ	25年	15,134	65	64	67	66	佐賀 57%
	26年	13,029	127	129	129	123	北海道 17%
	27年	12,350	128	121	123	139	千葉 6%
	28年	11,608	92	118	83	77	兵庫 6%
	29年	14,172	104	103	103	107	香川 3%
	5ヵ年平均	13,259	102	105	100	101	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	14,800	95	95	95	95	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>佐賀、北海道からの入荷が中心となる。佐賀は遅れていた生育が回復し、北海道は前年より貯蔵分の残量が豊富にある。今後も概ね順調な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

4月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	25年	9,347	328	345	317	328	熊本 29%
	26年	8,285	382	399	374	381	フィリピン 20%
	27年	7,141	419	423	416	419	青森 14%
	28年	6,951	419	433	429	403	愛知 9%
	29年	7,203	409	427	405	415	ニュージーランド 7%
	5ヵ年平均 30年見通し	7,785 6,900	387 410	— —	— —	— —	— —
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 前年数量 本年数量			単価 前年単価 本年単価 円/Kg
	いちご、すいか、メロン、りんごなどを 中心に入荷する。終盤となるいちごは緩慢 な入荷が続く、入荷量及び価格は前年並を 見込む。りんごは在庫が少ない状況が続い ており、価格は高め推移となるか。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年 並となる見込み。						
その他メロン (アールスメロン以外)	25年	1,223	332	382	315	333	熊本 72%
	26年	1,076	387	448	365	373	メキシコ 12%
	27年	818	455	482	471	429	愛知 9%
	28年	953	419	491	423	377	茨城 5%
	29年	758	448	487	453	436	鹿児島 2%
	5ヵ年平均 30年見通し	966 750	400 440	452 480	396 450	383 410	— —
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/Kg
	熊本を中心にメキシコ、愛知などからも 入荷する。野菜に転換する生産者が多く、 全体的な入荷量は減少傾向にある。本年は 冬場の冷え込みで生育が遅れていたが、そ の後の気温上昇と好天で回復が進み、品目 全体では前年並の入荷を見込む。 入荷量及び価格ともに前年並の見込み。						
すいか	25年	1,997	222	243	216	207	熊本 88%
	26年	1,742	249	264	254	237	愛知 11%
	27年	1,424	290	296	294	285	
	28年	1,496	278	301	295	256	
	29年	1,390	299	319	307	281	
	5ヵ年平均 30年見通し	1,610 1,400	264 300	281 320	268 300	249 280	— —
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/Kg
	熊本を中心に愛知からも入荷する。栽培 面積は微減だが、産地の出荷計画は前年を 上回る。1月が暖かかった前年に対し、本 年は生育が遅れて少ないスタートとなっ たが、好天に恵まれ入荷量が増加してい る。5月上旬の入荷は前年よりやや多いか。 入荷量及び価格ともに前年並の見込み。						

東京都中央卸売市場

4月27日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	25年	29,429	357	376	355	343	熊本 24%
	26年	29,586	398	412	394	388	青森 17%
	27年	26,394	439	460	429	432	フィリピン 11%
	28年	26,086	444	471	443	460	茨城 10%
	29年	28,729	418	438	418	399	愛媛 6%
	5ヵ年平均	28,045	410	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	28,800	420	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	すいか、メロンを中心に、ハウス物が入荷する。低温等の影響ですいか、メロンともに4月までの入荷量は前年を下回るが、5月に入り増加が見込まれる。びわも生育が遅れていたものの入荷などで増加を見込む。入荷量と価格はともに前年並の見込み。						
その他メロン (アールスメロン以外)	25年	3,452	392	420	383	381	茨城 69%
	26年	3,487	443	494	463	406	熊本 25%
	27年	2,709	528	619	550	467	メキシコ 3%
	28年	3,233	477	546	495	428	長崎 1%
	29年	2,868	500	539	534	479	千葉 1%
	5ヵ年平均	3,150	464	546	507	442	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	3,000	510	540	540	450	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	茨城、熊本を中心にアールスメロン、クインシーメロンなどが入荷する。茨城は3月下旬からの好天により、玉肥大・外観ともによい。熊本は1月以降の低温で生育が遅れ、入荷の中心は5月上旬から中旬となる。入荷量は前年をやや上回り、単価は前年をわずかに上回る見込み。						
すいか	25年	6,405	237	252	241	229	熊本 73%
	26年	6,421	258	266	265	249	千葉 13%
	27年	5,954	300	305	300	296	茨城 11%
	28年	6,900	288	312	298	267	群馬 3%
	29年	6,272	297	313	305	284	
	5ヵ年平均	6,390	276	290	282	265	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	6,300	300	310	310	280	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本中心に千葉、茨城から入荷する。大玉すいかは3月上中旬までの低温で生育が遅れていたものがピークを迎え、5月中旬にかけて入荷量が増加する。小玉すいかは5月下旬にかけて入荷量が増加する見込み。入荷量と価格はともに前年並の見込み。						

# 切花・鉢花の5月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 4月30日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	実績等					
輪	実績	25年	2,063	40		
		26年	1,693	39		
		27年	1,739	53		
		28年	1,777	51		
29年		1,753	43			
5ヶ年平均	1,805	45				
30年見通し	1,750	45				
概要	愛知、三重、沖縄などから入荷する。夏ぎくの入荷も一部始まり、中旬以降増えてくると思われる。販売面は業務需要が主体で、一般需要は軟調とみられる。					
小	実績	25年	1,111	25		
		26年	1,160	22		
		27年	1,374	27		
		28年	1,128	30		
29年		1,080	30			
5ヶ年平均	1,171	27				
30年見通し	1,100	30				
概要	沖縄、愛知などから入荷する。1、2月の低温の影響もあり、地場物の生産は減少している。前半は沖縄中心となるが、気温が高く品質面の心配がある。					
カーネーション	実績	25年	1,904	43		
		26年	1,816	37		
		27年	1,864	37		
		28年	1,651	42		
29年		1,888	46			
5ヶ年平均	1,825	41				
30年見通し	1,200	40				
概要	愛知、長野、和歌山から入荷する。本年は3月上旬から入荷量が増加しており、天候次第であるが特にスタンダードで後半品薄傾向となるか。また、秀品率も低く、少なめの入荷が見込まれる。					
かすみ	実績	25年	267	61		
		26年	258	59		
		27年	247	74		
		28年	245	64		
29年		241	68			
5ヶ年平均	252	65				
30年見通し	250	65				
概要	高知、和歌山、熊本から入荷する。気温が高く、例年入荷の少ない産地からの荷も多い情勢。母の日需要は第2週からで、品質に注意が必要。高冷地は下旬からの入荷となる見通し。価格は例年どおりとみられる。					

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	25年	405	156	
		26年	341	140	
		27年	344	143	
		28年	348	142	
		29年	342	158	
	5ヶ年平均	356	148		
30年見通し	350	150			
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、埼玉、新潟から入荷する。前年より気温が高く、中旬まで入荷は多い見通し。LAは埼玉中心にやや前進出荷となっており、中旬までは多い。鉄砲は生産も減少し、少なめの入荷。第1週は母の日参りで引き合いはあるが、全体的には苦しい販売となる見込み。</p>				
洋らん	実績	25年	451	78	
		26年	374	85	
		27年	368	92	
		28年	387	90	
		29年	417	77	
	5ヶ年平均	399	84		
30年見通し	400	80			
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡、徳島の国産物と輸入物が入荷する。4月に低調だった市況は、時期的に出荷を落ち着かせる産地や生産終了する暖地などで市場入荷量が減少し、ある程度正常な市況に戻るとみられる。</p>				
ばら	実績	25年	1,108	73	
		26年	1,000	69	
		27年	969	71	
		28年	908	71	
		29年	918	74	
	5ヶ年平均	981	72		
30年見通し	990	72			
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山を中心に入荷する。高冷地も始まり、入荷は安定する見込みだが、母の日の品種においては谷間になる物も多少出てくる。</p>				
枝の	実績	25年	1,687	43	
		26年	1,546	44	
		27年	1,513	47	
		28年	1,373	48	
		29年	1,618	48	
	5ヶ年平均	1,547	46		
30年見通し	1,500	46			
概要	<p>愛知、岐阜、静岡を中心に入荷する。前半は連休がらみで軟調。後半は稽古事での需要もあるが軟調傾向が続くとみられる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラ	実績	25年	51,200	516	
		26年	50,238	505	
		27年	26,975	547	
		28年	18,967	602	
		29年	34,378	489	
	5ヶ年平均		36,352	522	
	30年見通し		30,000	483	
概要	<p>入荷量は作付が少なくなり前年より減少か。5号鉢を中心に母の日前が入荷ピークとなる。ピンク、黄色などを中心に伸びすぎないものを中心に引き合いが強くなると予想される。 前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位長野（44.3%）、2位埼玉（37.8%）、3位福岡（5.8%）となっている。</p>				
ファレスノ	実績	25年	57,985	2,201	
		26年	38,310	2,643	
		27年	42,717	2,577	
		28年	41,268	2,742	
		29年	64,213	2,280	
	5ヶ年平均		48,899	2,448	
	30年見通し		62,000	2,258	
概要	<p>入荷量は前年よりやや減少か。母の日のミディーも年々盛り上がり欠け低価格帯になっている。お客の仕入れは4月5週目と5月1週目で、そのタイミングで相場は動くと思われる。白、黄色系の色目の入荷は少ない見込み。大輪に関しては4月下旬から5月上旬は売れる予想だが、母の日以降の流れは厳しい。 前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（51.0%）、2位静岡（12.2%）、3位熊本（12.1%）となっている。</p>				
バラ及びミニバラ	実績	25年	108,690	385	
		26年	99,324	388	
		27年	83,294	418	
		28年	85,276	342	
		29年	104,123	338	
	5ヶ年平均		96,141	374	
	30年見通し		100,000	330	
概要	<p>入荷量は前年並か。前年同様、連休と母の日が離れているために需要がある期間は長くなる。咲き過ぎの商品は敬遠され単価が出ないので、咲き前には十分に注意が必要となる。 前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜（48.9%）、2位愛知（41.7%）、3位愛媛（2.4%）となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイドランジア	実績	25年	246,258	725	
		26年	299,800	747	
		27年	230,997	689	
		28年	229,714	753	
		29年	353,921	890	
	5ヶ年平均		272,138	771	
	30年見通し		340,000	882	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。母の日が暦上では遅いが、入荷のスケジュールは前年より少し早い。3月後半からの高温続きで生育が早まっており、5月入荷予定から4月入荷にシフトする商品もある。5号中心の取扱いでバイカラー系と額アジサイの八重系の引き合いは強い。多品種小ロット生産が多く、価格帯は中値安定を見込む。 前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(49.5%)、2位群馬(16.1%)、3位埼玉(5.3%)となっている。</p>				
スパティフィラム	実績	25年	35,112	301	
		26年	38,270	263	
		27年	21,873	278	
		28年	18,041	313	
		29年	24,505	254	
	5ヶ年平均		27,560	280	
	30年見通し		24,000	250	
概要	<p>入荷量は前年並か。3～4号は母の日までの入荷がピークになり、入荷量も前年並と思われる。5号以上は母の日が明けてからも多少は需要があると思うが、単価面は厳しい見込み。入荷実績は前年と変動ないが、近年は福岡からの入荷も増えてきている。 前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重(37.0%)、2位愛知(35.5%)、3位岐阜(17.1%)となっている。</p>				
カーネーション	実績	25年	355,841	428	
		26年	377,053	402	
		27年	347,103	421	
		28年	296,483	466	
		29年	472,208	474	
	5ヶ年平均		369,738	439	
	30年見通し		470,000	477	
概要	<p>入荷量は前年並か。ただし、前年同様母の日が5月13日と遅く、動きは鈍いとみられる。今後の天候次第であるが、色により予約相対が偏る可能性があり、競売に掛かると苦戦が予想される。出荷方法はなるべく単色よりもミックス出荷を希望したい。 前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(43.1%)、2位群馬(16.0%)、3位茨城(4.1%)となっている。</p>				



## いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.539  
平成30年5月発行  
農林水産部食育消費流通課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6434